



NEWS

2011 No.248

11月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

第7回通常総会、創立25周年記念祝賀会を開催

長谷川新体制スタート 原点に帰りお客様第一の取り組みを強化 チームワークで要望に応えます

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は10月28日、福岡市中央区のヒルトン福岡シーホークで第7回通常総会ならびに創立25周年記念祝賀会を開催しました。25周年を機にNGPの原点を見つめ、長谷川新体制のもと、組合員一同力を合わせ「お客様第一」にまい進します。

NGP協同組合は今年、グループ発足25周年。協同組合に改組して7回目の通常総会をグループ発足の地である九州で開催し、同時に発足25周年の記念祝賀会を挙行了しました。

通常総会では2期4年理事長を務めた大橋岳彦理事長が退任し、新理事長に長谷川利彦・ハセ川自動車(富山県魚津市)代表取締役を選任しました。平野泰雄・ベストパーツ(千葉県市原市)代表取締役、山田彰・山一商店(富山県小矢部市)代表取締役、中村昌徳・クレストパーツ(岡山県倉敷市)代表取締役が副理事長に、また玉木基裕事務局長が専務理事に昇格して協を固める体制になります。

新体制は「次世代へ挑戦、『NGPプロフェッショナルリズム』を磨き続けよう!」を初年度の事業テーマに掲げました。東日本大震災の影響で新車販売が不振、中古車の流通量も大きく落ち込み、リサイクル部品業界も部品取り車両の減少や仕入れ高という厳しい経営環境にあります。この中でNGP協同組合

は「お客様第一」の原点に帰り、組合員一同力を合わせて高品質なリサイクル部品の提供に努めてまいります。

基本方針に、①『NGPの原点直視』=お客様第一の行動をします、②『リーダーシップの発揮』=理事会メンバーのチームワークを共有します、③『時代の流れを掴む』=すべてのステークホルダーに耳を傾けます、④『お客様目線の改革』=あらゆるお客様に、誠実、公平、公正に接します、⑤『生産・販売の両輪戦略実践』=常にプロフェッショナルとしての戦略実践をまず一歩を打ち出しました。

長谷川新理事長は所信表明に続き、「NGPグループの原点は大石一彦名誉顧問の理念による自動車リサイクルビジネスの流通革命にあります。25年前にイノベーションを提唱し、NGP三大信条を實踐し、NGPブランドの礎を築いてきました。NGP在庫共有システムとともに共有在庫ビジネスの原点である品質基準、統一教育、会員の育成指導などのノウハウは長年培ってきた私たちの財産であり、今後もしっかりと継承していきたい」などとして、新年度事業方針を提示しました。

また新年度の事業テーマを補足して「25年培ってきた良い面は継承し、改革すべきところは思い切って改革する組織運営を図っていききたい。さらにNGPの次世代がどのようなべきかを論議し、実践することに取り



総会で新方針を語る長谷川新理事長

組みたい」と述べました。前任の大橋理事長は会長(理事)として執行部に残り、新体制をサポート、一致協力してNGPブランドの強化と自動車リサイクル部品業界における最先端のサービス提供に努めてまいります。

総会終了後に開催した創立25周年記念祝賀会には大石名誉顧問にご臨席いただき、多くの来賓、組合員とともに25年の歩みを振り返りました。また、大石名誉顧問から「これまでの25年間、仲間としてともに歩んできてくれてありがとう。NGPの26年目はさらに素晴らしいものになるでしょう。そして次の25年をともに歩み、発展していきましょう」などとしたお祝いの言葉をいただきました。

NGP協同組合はスタートを切って25年、常にビジネスイノベーションを心がけるとともに「お客様第一」以下の三大信条を實踐してお客様皆さまからの信頼を得ることができました。今後もこの基本姿勢を変えることなく、三大信条の實踐と進取の気性を積み上げて、自動車リサイクル部品業界の新たな時代を切り開いてまいります。25周年を機にさらなる飛躍をめざすNGP協同組合にご期待ください。



創立25周年記念祝賀会で大橋理事長から長谷川新理事長にNGP旗が手渡された

NGP協同組合新執行部記者会見

長谷川理事長「基本に帰り、お客様を大切にしたい」 大橋会長「企業成長に長ける新理事長のスキルに期待」

NGP協同組合第7回通常総会で選任された長谷川利彦理事長は、大橋岳彦会長らとともに記者会見に臨みました。長谷川理事長は「NGP協同組合の基本に帰り、高品質なリサイクル部品の提供を続けていきたい」などと抱負を述べました。



通常総会終了後、記者会見に臨む
長谷川理事長（写真中央）と大橋会長（写真左）

一大橋会長から長谷川理事長に申し送り事項はありますか。

大橋会長 理事長を務めた4年間、自動車リサイクル業界の地位、立場を考えながら行動してきました。使用済自動車の発生が減り厳しい状況にあるので、各組織を超えて自動車リサイクル業界一体となった活動を今後も継続してほしいと思っています。長谷川理事長は会社を成長させるスキルに長けている方なので、厳しい環境下でNGPの組合員をぐいぐいと引っ張っていただけると期待しています。

一長谷川理事長のお考えを聞かせてください。

長谷川理事長 まだ具体的に細かい施策まで踏み込んで考え方を整理できてはいませ

んが、組合員の方には基本に帰って、お客様をいかに大事にしていくかを共通思想として取り組んでいきたいです。

一厳しい環境でもNGP協同組合の売上は伸びています。その背景は。

長谷川理事長 他グループの数字はわかりませんが、組合員同士お互いに信頼できる商品を流通できるように積み上げてきたことが私たちの財産で、その結果だと思っています。これからも良い点を伸ばし、さらにリサイクル部品の生産力を高めて良い商品を市場に提供していきたいと思っています。

大橋会長 使用済自動車の在庫状況は厳しいですが、NGP組合員それぞれが非常に力を持っており、仕入れの優位性などにつながり、部品生産金額を伸ばすことができた面があります。また、東日本大震災以降リサイクル部品自体の需要が伸びており、この中でこれまでNGPとしてコツコツ積み上げてきたことが改めて評価されている、こうした面もあると考えています。

一500億円の目標はどうめざすのですか。

長谷川理事長 いきなり数字を並べることは考えていません。しかし毎年10%ずつの売上を伸ばすことができれば(500億円)2年間で十分届く数字だと思っています。

一新任の副理事長、専務理事から一言ずつ抱負をお願いします。

中村副理事長 他の理事とともに長谷川理事長を補佐する立場にありますが、内部強化、組織の強化を図っていくことが自分の役割のひとつだと思っています。教育や組織強化を図っていききたいと思います。

山田副理事長 いまのところは何か大きく変えなければならないところはないと思っています。まず内部のことから始めながら外部のことに関わって長谷川理事長のお手伝いのできれば良いと思っています。

平野副理事長 これまでも総務広報委員会や監事、株式会社NGPの監査として会計面を見てきており、長谷川理事長から引き続き会計面をしっかりと見てほしいと頼まれました。この面でしっかり長谷川理事長を支えていきます。

玉木専務理事 宮地氏の後任として屋台骨を支えることになり、緊張感を覚えています。NGP協同組合の理事長以下は株式会社NGPの役員となり、協同組合を背負って行くこととなります。この体制で迅速な決断と組合員に開かれた執行部活動をめざしたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

進取の気性でIT化に前向きにチャレンジ

形状自動計測の研究成果と 生産効率化システムを総会で発表

NGP協同組合は28日に開催した第7回通常総会で、福岡工業大学と共同で取り組んだ「中古部品形状自動計測装置」のプロトタイプとシステム委員会で取り組んだ「生産効率化NGPシステム」を発表しました。

福岡工業大学と共同で取り組んだ形状自動

計測システムは、リサイクル部品の表面にある傷やへこみを3次元で自動計測するものです。複数のCCDカメラで表面を撮影し、画像処理技術でデータ加工して細部のキズやへこみを測ります。塗装カラーによってデータ処理がしにくかったりしたのですが、共同研究を重ね、課題を克服、可能な限りのコンパクト化を図りました。

現在、表面を分割し、目視によってキズなどを判定していますが、このシステムを導入することで客観的に測定することが可能となり、品質基準の統一化に役立ちま

す。現時点では、NGPシステムと連動しておらず、計測システムで得たデータを再度入力し直すなどの課題が残ります。また、実用化に向けては、実戦データを収集し、データ精度をどこまで求めるかなど、利用範囲を見極めることなども必要になります。

一方、生産効率化システムは、基幹サーバの切り替え後、システム委員会で検討を進めてきたものです。使用済自動車の在庫管理から部品取りまでの一連の情報管理を行うとともに、自動車リサイクル法のリサイクルシステムとも連動して、一連のデータ処理を行うことができます。使用済自動車引取先からの処理状況の問い合わせなどに役立ちます。

ハンディターミナルなど初期投資が必要ですが、処理台数が多い事業所の作業効率化に役立ちます。システム委員会は新年度の活動として、完成した生産効率化システムの検証、評価作業に取り組み、より使いやすいシステムへと機能向上を図ることにしています。



さらに小型化も可能という
中古部品形状自動計測装置



リリースを始める
生産効率化NGPシステム

理事長を支える NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 **新** 執行体制

	氏名/生年月日	会社名/役職	抱負
副理事長	 平野 泰雄 S36.1生	(有)ベストパーツ (千葉県市原市) 代表取締役	副理事長に任命されまして、大変光栄に思います。私の役目は財政面の管理だと認識しております。しっかりと役目を果たし理事長を支えていき、組合に貢献していきたいと考えております。
	 山田 彰 S34.9生	(有)山一商店 (富山県小矢部市) 代表取締役	このたび、副理事長に就任いたしました。非才微力の身ではございますが、新理事長のもと、NGPや業界発展のために誠意を尽くす所存です。ご指導、お力添えをお願い申し上げます。
	 中村 昌徳 S37.10生	クレストパーツ (岡山県倉敷市) 代表取締役	長谷川理事長の補佐役として、NGP理念の再認識・組合員の意思統一を図ることを進めていきます。非才非力な私ですが、全力で目標達成に向け精励する覚悟です。よろしくお願い申し上げます。
専務理事	 玉木 基裕 S26.2生	協同組合本部	座右の銘は、『無心是道』です。人間らしさを大切に、できる限り仕事を完璧にこなす情熱を持つこと、難しい問題に立ち向かう時は、邪心を捨てた創造力を持って努力します。
理事	 福田 健志 S37.10生	(株)アシスト・フクダ (北海道函館市) 代表取締役	今後我々の業界は相当淘汰されると予想されます。今期NGP組合員が生き残れる様な戦略が必要不可欠です。500億プロジェクトを通し皆様のご協力をお願いいたします。
	 安澤 康博 S45.1生	(有)安澤商店 (福島県西白河郡) 代表取締役	東北は東日本大震災からの復旧・復興もまだまだこれからです。我々の業界として被災車両の処理、中古部品の提供等、車に関して貢献できる部分がありますので全力で取り組みます。
	 増田 嘉久 S38.8生	(株)茨城オートパーツセンター (茨城県小美玉市) 代表取締役	北関東支部の代表者は、若手が多いので、コミュニケーションを大切に結束力を高めたいと思います。また、部品売上と生産金額の両方とも全支部で1位をめざして活動します。
	 杉之間 大和 S45.8生	(株)杉之間 (神奈川県小田原市) 代表取締役	南関東支部の支部理事を仰せつかりました、杉之間と申します。支部一丸となり頑張っております。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。
	 津田 隆二 S40.2生	津田鋼業(株) (福井県越前市) 代表取締役	今期も引き続き理事をやらせていただくことになりました。NGP全体の生産効率及び販売増加につながる取り組みを、自らが率先して行い、業界を常に引っ張って行きたいです。
	 山下 禮市 S21.9生	アーク(株) (愛知県清須市) 代表取締役	理事就任3期目です。今期は①支部間格差の是正、②各社社員間の情報交換、③CO2削減に向けた取り組みの展開、の3項目実現をめざします。補修部品業界のリーダーたることです。
	 永本 貴夫 S44.6生	(株)カンザキ (滋賀県東近江市) 代表取締役	2年間理事の業務を務めて、NGPの中核を担うのが理事会であることに、改めて職務の重要さを感じています。NGP組合、組合員の思いをつなげられる様努力したいと思います。
	 佐伯 孝雄 S42.1生	(株)佐伯商会 (香川県高松市) 代表取締役	中四国支部理事を務めさせていただきます佐伯です。長谷川新理事長を中心に議論を重ねNGPをいい方向に進めていけるように、また中四国支部の発展に努力していきますのでよろしくお願い致します。
	 伊地知 志郎 S50.3生	(株)オートパーツ伊地知 (鹿児島県鹿児島市) 代表取締役	九州支部の理事になりまして2期目になります。おかげさまで九州は2代目の方が多くリサイクル部品の推進に全力を上げています。今期も努力してまいります。

NGP 今月のCO2削減量

リサイクル部品利用にともなう削減効果

※ NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO2の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。



NGP 平成23年9月: **6,358 t**

NGP 1月からの累計: **59,199 t** (全12団体 1月からの累計 **106,148 t**)

リターンブル梱包材利用にともなう削減効果

※リターンブル梱包材の利用にともなう削減効果はNGP協同組合独自のCO2排出削減の取り組みです。ダンボールに変えて、専用梱包材を200回繰り返し使用することで削減効果を試算しました。



NGP 平成23年9月: **18.7 t**

NGP 1月からの累計: **130.1 t**

※リターンブル梱包材はドア・フェンダー用に加えて2月よりバンパー用の運用を開始しました。

平成22年度年間業績表彰、同品質優良組合員表彰

総合部門最優秀は津田鋼業 品質優良で北海道支部4連覇

NGP協同組合の第7回通常総会で、前期の部品生産・販売の業績優秀組合員を讃える「年間業績表彰」とお客様からのクレーム発生を抑制することに努めた組合員を顕彰する「品質優良組合員表彰」の対象者が発表、表彰されました。

年間業績表彰は、部品売上部門の売上金額および対前期伸長率、部品生産部門の生産金

額および対前期伸長率の4項目で、各項目が上位20以内に入ることを選定しました。全体金額が伸びれば伸長率は頭打ちとなることからハードルが高い賞になります。今回は4項目すべてを10位以内とした津田鋼業(福井県越前市)が業績トップの組合員として「総合部門最優秀賞」を受賞しました。

また部品売上部門ではCRS埼玉(埼玉県川越市)、リサイクルガレージケーワン(千葉県船橋市)が金額・伸長率を20位以内とし「部品売上部門優秀賞」に、生産部門では辻商会(北海道旭川市)とアイエス総合(宮城県登米市)が優秀な成果を収め「生産金

額部門優秀賞」を受賞しました。

なお今回は4項目のトップ組合員に対する「年間最高位表彰」も実施しました。部品売上では金額でユーパーツ(埼玉県熊谷市)、伸長率でみうら(高知県高知市)、また生産部門では金額でハセ川自動車(富山県魚津市)、伸長率でヤタパーツ(静岡県沼津市)が部門1位の業績を残し、「優秀賞」を獲得しました。

一方、品質優良組合員表彰はクレーム撲滅に注力した支部、組合員を顕彰する制度です。支部別表彰では北海道支部が今回もトップの成績を残し、同部門4連覇を果たしました。

組合員別表彰は1事業所当たりの出荷点数で区切り、組合員平均の8666点を超える出荷点数でクレーム率1%未満の組合員、また年間3万点以上を出荷する大規模事業者でクレーム率が全組合員平均未満である組合員を表彰しています。前者はエルバ北海道(北海道帯広市)、ユーパーツ(埼玉県熊谷市)、アシスト・フクダ(北海道函館市)、ナカスジオオートパーツ(福井県坂井市)が、後者の大規模事業者ではエビス(広島県坂町)、青南商事(岩手県矢巾町)が受賞しました。



年間業績表彰で受賞した組合員



品質優良組合員表彰を受けた組合員と北海道支部の代表

韓国自動車リサイクル事業者と交流 ネットワーク構築の可能性を探る

NGP協同組合と馴染みがある韓国産業技術研究院主席研究員の安永供博士が引率して韓国自動車リサイクル事業者らが来日、10月7日にNGP協同組合本部でネットワークの構築の可能性について意見交換しました。開始早々のリサイクル部品ネットワークを活発するため、NGPシステムと接続し日本からの部品調達を検討したいなど

との相談を受けました。

韓国のネットワークは、NGP協同組合理事会在が昨年の訪韓時に見学したジョンウン産業を中心に作られており、名称は「HARMR」(韓国語でカバ)、現在、解体業者36社、1級、2級の整備工場約40社、韓国自動車部品再製造協会加盟のリビルト事業者20社が参加しています。しかし登録する部品点数



韓国のシステム会社も参加、日韓部品ネットワークで意見を交換

が少なく利用が進んでいないとのことでした。

これに対して海外の顧客向けに「NGPダイレクト」があることを紹介、初期の投資の負担が少なく、協力も可能であることを回答しました。NGPシステムの中身を韓国語に翻訳できないかなどの要望もあるため、当面、両者間で協議を続けることになりました。

環境委員会がエコ情報の収集でEVEXを見学

総務広報委員会、環境委員会合同によるエコプロダクツ出展に向けた詰め会議が10月13日に横浜であり、会議終了後、出席者一同がパシフィコ横浜で開催されていた「EVEX(電気自動車開発技術展)2011」を見学し、エコカー動向の最新情報の収集に努めました。同技術展の青森県ブースでNGP協同組合に加盟するエコブリッジ(青森県八戸市)

による改造EVの技術協力の取り組みが紹介されていました。

電気自動車はエンジンで走る現行車に比べて自動車1台当たりの部品点数が減少、メカニズムの変化はもちろん、リサイクル部品に対してもさまざまな影響が出ると見られています。同時に改造EVなどの分野でリサイクル部品業者が協力できることもありま

す。こうした動きを注目しながらNGP協同組合として広範なエコ活動を推進したいと考えています。



会場を熱心に見学する総務広報委員会、環境委員会のメンバー

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp